

平成20年度「立ち上がる農山漁村」選定事例概要書

◎取組分野：【交流】【食】

1. 都道府県、市町村 石川県^{かがし}加賀市
2. 団体名 高塚地区自然保全会
3. 取組みの名称 「子供農園」を核にした町づくり
4. 取組概要等

◇概要

高塚地区では、農業を知らない世代が増えたこと、稲作の機械化により昔ながらの共同作業（田植え、稲刈り、はさ干し等）が行われなくなったことで、家庭内や町内での共通の話題が減り、地域で連帯して助け合うという共同意識が薄れ、高齢者の技術を継承する機会も途切れつつあった。

そのような中、平成11年からの大型圃場整備計画が持ち上がった際、子供たちに昔ながらの稲刈りを伝えていきたい、食のありがたさ、米一粒の大切さを町民に実感してもらいたい、と地区の営農組織が「子供農園」をつくることを提案し、集落の圃場の一部420㎡を「子供農園」として平成12年開設した。

平成13年には地区の水稲農家全戸加入により高塚地区営農組合が設立された。営農組合は、町内会、老人会、婦人会、子供会等の各組織に協力を呼びかけ、町民一体となった活動を行ってきたが、その後、平成19年からは農地・水・環境保全向上対策に取り組むため各組織がまとまり高塚地区自然保全会が設立された。

町づくりの核となる子供農園では、手植えや鎌での稲刈り等、昔ながらの稲刈りが体験でき、行事は町内全戸の参加により実施している。田植え準備の枠回しは老人会が担当し、田植えを5月の連休中に、稲刈りを9月の敬老の日に、それぞれ近隣地区の園児も交えて賑やかに実施している。

12月の第3日曜日には他地区からの参加者も迎えての収穫祭を開催し、老人会、婦人会等の協力を得ながら、子供農園で収穫した米で臼杵を使った餅つき大会を実施する。1月にはかき餅作りを、2月初めのかき餅編みには幼稚園児も参加し、老人会の手ほどきを受けながら、かき餅を稲わらで編み込む作業を体験する。このかき餅は加賀市内の福祉施設等へも配り、昔なつかしいかき餅作りの習慣を町内外へ伝えている。

また、自然保全会となってからは環境美化活動として農道の景観美化のためコスモスを植栽しているほか、子供会が空き缶拾いやゴミ集めに取り組んでいる。このほか、荒廃していた畑地を整備して、集落50名の出資により6haの畑地に約550本の銀杏を植栽し、「加賀ぎんなんの郷」づくりを進めている。

◇活動の規模

項目	H15	H16	H17	H18	H19
生産量	210	210	210	210	210
解説	単位：kg 子供農園で収穫されるモチ米				
イベント回数	5	5	5	5	6
解説	単位：回 子供農園の田植え・稲刈り、収穫祭、かき餅作り、景観作物の植栽等				
イベント参加者	約600	約600	約600	約600	約725
解説	単位：人 各イベントには営農組合、老人会、婦人会、子供会、幼稚園児ほか町内外の住民が参加				

◇活用している地域資源

- ・「子供農園」での昔ながらの手作業による稲作り
- ・田植え時の杵回し、はさの組み立て、稲の結束、杵臼を使った餅つき、手返しの技、かき餅づくり、かき餅の編み込みなど、**地域の高齢者の技術**
- ・荒廃した畑地を活用した銀杏栽培

◇地域活性化のポイント

稲作りを通して家庭や地域での対話、コミュニケーションを深めたいとの思いから営農組合を中心に始まった活動であったが、**「子供農園」を核とした町づくりは、家族の「和」を生み、地域の「和」となり、高塚町の輪を広げる活動**となっている。

子供農園での田植え・稲刈り体験や収穫祭は今では町内全戸が参加する行事として定着しており、子供たちに農業の楽しさを伝えるだけでなく、農家と非農家との交流の機会をつくり、地域の連帯意識の醸成につながっている。特に収穫祭では、他地区からの参加者とも親睦を深め、町内外に高塚地区の魅力をアピールしている。

また、手作業による稲作りやかき餅作りなど、途切れつつあった高齢者の技術を次の世代に継承していく機会ができたこと、さらには世代間交流の場を提供できたことは、地区の高齢者の生きがいつくりに寄与するものである。

さらに、銀杏栽培については畑地の利活用策として始まったものであるが、**「孫の代に夢」を合言葉に地域の新たな特産物となることを目指して**取り組んでおり、高台から見渡せる銀杏畑は町の新たなシンボルになりつつある。

◇事業の今後の展開方向

現在植栽している銀杏は、平成23年頃には収穫が見込まれている。営農組合が中心となり、銀杏の販売はもとより、婦人会、老人会など各組織の事業として銀杏の加工販売等をはじめるとも計画している。また、銀杏畑の紅葉は、白山を背に景観が素晴らしく、加賀市内だけではなく都会からも参加してもらえるようなイベントを積極的に企画し、将来は「夢のある高塚」を確信して活動を推進していくこととしている。

一方、子供農園で行っている行事も、加賀市内外や都会からも参加してもらえるようなイベントとなるよう方策を検討している。特にかき餅は、毎年地元紙等で取り上げられるたびに問い合わせがあるため、婦人会、老人会等の各組織と販売を前提に協議しているところであり、今後も様々な工夫しながら保全会の活動を発信し、高塚地区を活性化させていきたいと考えている。

